



**8月を振り返って**

昨年に引き続き、猛暑の 8 月となってしまいました。この暑さの中、教員採用選考を受験した皆さん、大変お疲れさまでした。人事は尽くしたので結果の発表を待ちましょう。別途お願いしているところですが、①選考受験者アンケート、②復元論文の作成、③面接復元の 3 点の作成をお願いします。特に②・③については、記憶が鮮明なうちに、しっかりと復元して提出してください（書式は自由）これらの資料は次年度以降採用選考を受験する後輩たちにとって貴重な資料となりますし、教職課程センターとしても、自治体ごとの傾向を知るための重要な資料となります。選考が終わって羽を伸ばしたい気持ちはわかりますが、その前に上記 3 点の作成をお願いします。

就活中の皆さんの中には、教員を目指すか、企業を目指すか迷っている人も多いと思います。教員免許更新制が廃止された現在、卒業と同時に取得した教員免許は生涯有効です。もちろん新卒ですぐに教員になり、指導技術を磨くのもありですし、一度企業に就職し、社会人を経験してから教員を目指すのもあります。免許取得後に大学院に進学して専門性を高める道もあります。さらには教員になってある程度キャリアを積んでから教職大学院に進学し、現場で専門性を発揮することもできます。人生設計は単線ではなく複線です。自分が一番生きがいを感じられる道を選択してほしいです。この図でお示すように、生きがいは「好きなこと」「社会が必要とすること」「得意なこと」「収入が得られること」という 4 つの要素が交わったところに存在します。自分の人生を俯瞰して、一番生きがいを感じられるコースを選んでほしいと願っています。



**9月の予定**

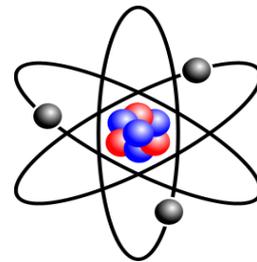
9 月から、教職課程センターのサポート対象は 4 年生から 3 年生、2 年生へとシフトしていきます。令和 5 年度より関東地方の自治体では、一次選考の受験が 3 年生に開放されました。自治体としては意欲のある学生を困り込みたいという思惑もあつての制度変更ですが、教員志望の学生にとっては受験の機会が増えることはプラスなので、ぜひ積極的にこの制度を利用してほしいと考えています。実際問題として、3 年の 6 月に一次選考を受験するためには、2 年生の秋から準備を始める必要があります。まだ教職課程センターに登録を済ませていない学生の皆さんは、ぜひ早めに登録をして、教職課程センターからの情報を受け取ってください。そしてロードマップを作成し、一次選考の準備を始めていきましょう。教職課程センターには過去問等の資料がそろっています。随時貸し出しも行っていますので、一度足を運んでみてください。3 年生はいよいよ論文作成に取り組む時期です。教職課程センターでは、過去の論文出題傾向を踏まえて、論文作成のための強力なツールがそろっています。それらを有効に活用して、説得力がある論文作成ができるように個別指導をいたします。しかし論文は、ある程度数を重ねて書いていかないと、時間内に書き上げることは難しいです。9 月から始めれば十分間に合いますので、ぜひ早めに個別面談を予約してください。

## サイエンスに関する基礎知識調査（問題編）

1988年、英米で18歳以上の一般成人を対象に、科学的基礎知識についての調査が行われました。質問項目は、科学者達が「これらは一般常識として知っておいてもらいたい」と望んだ極めて簡単な内容です。理系の大学で行えば、全員が全問正解でも不思議はありません。さてみなさんはいかがでしょう・・・？ チャレンジしてみてください。

以下の文章が正しいければ○、誤っていれば×、知らなければ△と解答しなさい。

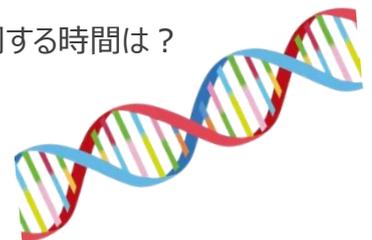
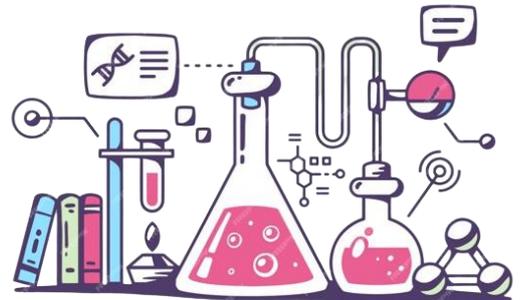
1. 地球の中心部は非常に高温である。
2. 昆虫の脚は6あるいは8本である。
3. 現在の人類は原始的な生物から進化した。
4. 我々が呼吸する酸素は主に植物が作っている。
5. 高い山の上の気圧は地表よりも低い。
6. 放射性物質を含む水は、煮沸すれば安全に飲める。
7. レーザーは、音波を集中させることにより作用する。
8. 太陽光線は皮膚ガンを引き起こす事がある。
9. 暖かい空気は上昇する。
10. 尿は肝臓で作られる。
11. 電子は原子よりも小さい。
12. 大陸は地球表面をゆっくりと動いている。
13. スポーツ選手の訓練の効果は子に遺伝する。
14. ダイヤモンドは炭素から出来ている。
15. 子どもが男か女かを決めるのは父親の遺伝子である。
16. 抗生物質はバクテリア（細菌）とウイルスを殺す。
17. 天然のビタミンは、人工的に合成で作られたビタミンより体によい。
18. 普通の食卓塩は炭酸カルシウムである。
19. ごく初期の人類は恐竜と同じ時代に生きていた。
20. 音の速度は光よりも速い。
21. 放射性物質は全て人が作り出した物である。
22. 地球が太陽の周りを回っていますか、それとも太陽が地球の周りを回っていますか？  
[ 地球が回る 太陽が回る 知らない ]
23. (22)で、地球（太陽）が太陽（地球）の周りを回っていたら、一周する時間は？  
[ 一日 一月 一年 知らない ]
24. DNA という用語は、どんな分野で使われていますか？  
[ 天体 建築 生物 コンピューター 知らない ]
25. 太陽系、月、銀河系、地球、宇宙、太陽を大きい順番に並べなさい。



## サイエンスに関する基礎知識調査（解答編）

( ) 内は国内の某理系私立大学（法政大学ではありません）の1年生の正答率だそうです。見ると6, 7, 15, 16, 17 辺りの正答率が低いです。皆さんの結果はいかがでしたか？サイエンスリテラシーは、疑似科学にだまされることなく、よりよい人生を送るために重要です。小金井キャンパスの皆さんは、ぜひともサイエンスリテラシーを高めてくださいね。

1. 地球の中心部は非常に高温である ○ (99%)
2. 昆虫の脚は6あるいは8本である × (85%)
3. 現在の人類は、原始的な生物から進化した ○ (90%)
4. 我々が呼吸する酸素は植物が作っている ○ (99%)
5. 高い山の上の気圧は地表よりも低い ○ (94%)
6. 放射性物質を含む水は、煮沸すれば安全に飲める × (57%)
7. レーザーは、音波を集中させることにより作用する × (56%)
8. 太陽光線は皮膚ガンを引き起こす事がある ○ (93%)
9. 暖かい空気は上昇する ○ (88%)
10. 尿は肝臓で作られる × (71%)
11. 電子は原子よりも小さい ○ (68%)
12. 大陸は地球表面をゆっくりと動いている ○ (85%)
13. スポーツ選手の訓練の効果は子に遺伝する × (85%)
14. ダイヤモンドは炭素から出来ている ○ (99%)
15. 子どもが男か女かを決めるのは父親の遺伝子である ○ (55%)
16. 抗生物質はバクテリア（細菌）とウイルスを殺す × (43%)
17. 天然のビタミンは、人工的に合成で作られたビタミンより体によい × (33%)
18. 普通の食卓塩は炭酸カルシウムである × (61%)
19. ごく初期の人類は恐竜と同じ時代に生きていた × (87%)
20. 音の速度は光よりも速い × (97%)
21. 放射性物質は全て人が作り出した物である × (79%)
22. 地球が太陽の周りを回っていますか、それとも太陽が地球の周りを回っていますか？  
[地球が回る] (96%)
23. (22)で、地球（太陽）が太陽（地球）の周りを回っていたら、一周する時間は？  
[一年] (92%)
24. DNA という用語は、どんな分野で使われていますか？  
[生物] (100%)
25. 太陽系、月、銀河系、地球、宇宙、太陽を大きい順番に並べなさい (83%)  
宇宙>銀河系>太陽系>太陽>地球>月



活動することで、部員同士が切磋琢磨して高い水準の技能や記録に挑戦する活動を通して、楽しさや喜びを味わい、充実した学校生活を送るための活動です。また、体力の向上や健康の増進、自主性など豊かな人間形成にも欠かせない活動です。また教員が部活動の顧問を務めることで、部活指導を通して生徒理解も深まりますし、子どもたちの成長に関わることが出来ます。皆さんも中学、高校、大学と様々な部活動を経験されてきた方が多いのではないのでしょうか。顧問の先生方との交流もあったことと思います。部活動は、今も昔も、生徒たちにとっては毎日の学校生活の中で、最も楽しみにしている活動なのです。

部活動が成立するためには3つの条件が揃う必要があります。その条件とは、①活動を希望する生徒がいること、②顧問を務めてもいいと考える教員がいること、③活動の場所が確保できること、この3条件です。特に今問題となっているのが顧問の成り手が減ってきていることです。理由はもし顧問を引き受けると、勤務時間外の負担があまりにも大きくなってしまからなのです。

部活動は、学校の教育課程上の位置づけでは「課外活動」となります。放課後の活動なので、活動時間も授業終了後から最終下校時刻までとなり、ほとんどの学校では16時から18時30分の間の活動となることが多いです。悩ましいのは教員の勤務時間が16時45分までだという点です。(しかも多くの公立中学校・高等学校では教員の休憩時間が15時45分から16時30分までと設定されています)そのため、杓子定規に当てはめて考えると、教員の立場からすれば、休憩終了後の16時30分から16時45分までの15分間だけ、顧問として生徒の活動に付き添い、16時45分に退勤することができます。しかし現実問題として15分間だけの活動はあり得ないので、16時45分の退勤時刻以降は、「ボランティア」として子どもたちの活動に付き添わなければなりません。さらに対外試合やコンクール、発表会などは、土日や祝日に行われます。試合前やコンクール前になれば、土日に終日活動するのは当たり前で、そこにも付き添わなければなりません。またご存じだと思いますが、教員の場合給特法という法律があり、残業が一切認められていないので、放課後や土日、祝日に部活に付き添ったとしても無給です。交通費や昼食代を考えると完全に手出しになります。しかも活動中には生徒たちの管理責任が発生するので、もし事故やけががあれば、顧問が責任を問われます。なんとも理不尽な話です。

私たちが現職だった、昭和・平成の時代は、先輩たちも「部活の顧問はやって当たり前」という雰囲気だったので、深く考えもせず顧問を続けてきましたが、令和になり、教員たちの意識も変わり、「勤務時間外の活動は一切お断りします！」という教員も増えています。これはある意味当然のことです。管理職としては先生方に顧問を強制はできないので「できる範囲でお願いします」とお願いするしかありません。また現在は顧問を引き受けてくれる教員がいたとしても、教員は定期的に異動(転勤)するので、異動に伴い後任の顧問が見つからずに活動を停止せざるを得ない部活動もあります。



現在スポーツ庁を中心に部活動の外部委託を進める動きが出始めましたが、まだまだ道は険しいです。地域に受け皿がなく、コーチや指導者も簡単には見つからないのが現状です。各自治体の教育委員会も部活動指導員として人材を募集していますが、思うように集まってはいないという実態があるようです。

また、保護者の意識にも問題があり、部活動は「あって当たり前」「教員は顧問をやって当たり前」と勘違いしているケースが多く、教員が顧問をやめると言い出したとたんに、保護者に責められるケースもあります。本来は校長がしっかりと保護者に説明する必要があるのですが、それができない校長がいるのも事実です。

このように現在の部活動には問題が山積していますが、「生徒が最も楽しみにしている活動、生徒の成長が実感できる活動に寄り添いたい！」という気持ちがあれば、顧問をやってみるのもいいと思います。でも決して一人で抱えるのではなく、他の顧問や管理職と相談しながら、無理のない範囲で続けてほしいと思います。